

様

年 月 日

アバスチン／ゼローダ併用療法

この治療では次の2種の薬を使用します。

ペバシズマブ（アバスチン注）：血管新生を妨げて効果を現します。

カペシタピン（ゼローダ錠）：細胞のDNAやRNAの合成を妨げ効果を現す。

<投与スケジュール> …… 3週間 1コース 今回 コース目

<薬品名> <投与方法・時間>	<薬の作用>	1コース目			2コース目
		1日目	2日目	14日目	22日目
グラニセロン・デキサト・輸液 <点滴30分>	吐き気止め、アレルギー予防		休薬		
アバスチン・輸液 <点滴30分>	化学療法剤		休薬		
ゼローダ 内服<14日間> 休薬<7日間>	化学療法剤			休薬	

<薬剤投与日の注意>

- ★ 点滴部位が痛くなったり、腫れたりした場合や点滴が落ちなくなった場合は、薬液が血管外へ漏れていることがありますので、すぐに申し出てください。
- ★ 薬剤の投与は、血液検査やその他必要な検査を行いながら進めていきます。副作用の発現・合併症の有無によって治療の途中でも、薬剤の減量・変更や中止されることがあります。

<備考>